

協働時代

ホップ～ステップ～ネットワーク



第11号

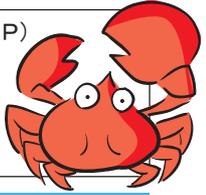
2007年
7月4日
発行

岐阜市NPO・ボランティア協働センター

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1丁目12番地(岐阜中日ビル2F)
TEL&FAX (058) 264-0011
E-Mail vorabi@fine.ocn.ne.jp URL <http://www16.ocn.ne.jp/~kyoudou/>

紙面

- 市民活動支援事業 公開コンペの紹介(1P)
- 市民活動支援事業 応募団体(2P)
- 市民活動支援事業 決定団体(3・4P)
- 協働事業ガイドライン(5P)
- NPOイベント情報(6P)



市民活動支援事業 公開企画コンペティション 報告

6月16日(土) 会場:ハートフルスクエア-G 2階(交流サロン)
岐阜市橋本町1-10-23

岐阜市では、地域の課題解決を目的に活動している市民団体の活動を支援する事業を行っています。今年度もさまざまな分野で活動している団体やグループから30件の応募があり、市民の皆様にも参加を呼びかけて行った「公開企画コンペティション」では各団体から多彩なプレゼンテーションが熱心に行われました。





市民活動支援事業

応募団体 事業概要



この事業は、岐阜市に在住・在勤・在学する人が過半数以上のグループ・団体（NPO法人も可）を対象に、市内における地域社会の課題解決を目的に公益的な視点を持ち自主的に行われる活動を支援する事業です。補助額は事業費の3分の2以内、20万円が限度です。企画コンペの審査をもとに助成事業を決定します。

今年度は過去最多の30団体から応募がありました。

団体名	事業名	事業概要
柳ヶ瀬寄席実行委員会	柳ヶ瀬寄席実施による街なかの賑わいの創出とスローライフ推進事業	中心市街地活性化及び持続可能なまちづくり活動の形成
論田川の生き物を守る会	論田川の生き物を守る活動	論田川の美化に努め、小学生児童対象の野鳥観察を実施して、自然環境を守る大切さを深めることを目的とする。
岐阜言友会	吃音を考えるつどい	吃音問題解決の対策、話し合い、各言友会大会参加等。
岩野田の歴史を語る会	「岩野田のむかしばなし」の刊行	古老から岩野田の伝説を聞き取り、「岩野田のむかしばなし」という冊子を刊行し、ふるさとを愛する心を育てる。
NPO法人 ぎふ脳外傷友の会長良川	高次脳機能障がい者社会復帰支援事業	高次脳機能障がい者が地域社会に貢献できるように当事者、家族らが研修に参加し、そのノウハウや支援方法の習得に努める。
お出かけおもちゃアシスターズ	お出かけおもちゃアシスターズ	おもちゃが直る所を見て物を大切に作る気持ちと、環境に優しい社会を目指す活動。
特定非営利活動法人 STEP-1	モバイルITセミナー事業	中高年者の携帯電話利活用法の習得を目的とし、携帯電話会社の全面協力のもとに「モバイルITセミナー」を開催。
社団法人 岐阜青年会議所	スポーツチャレンジぎふ2007	「30人31脚」に参加する子どもたちの練習支援活動を通して地域コミュニティとの繋がりを再構築する事で健全育成に繋げたい。
NPO法人 みんなが	障がい児とその家族のための子育て支援事業 「地域でつなげよう！ 広げよう！ 情報交換の輪！」	障がい児の子育てをテーマに講演会を企画し、地域の親同士の交流や関係機関との連携強化と、社会の中での支援者拡大を目的とする。
美濃コットンボール銀行	「ためきの糸車」大作戦 ～自然の恵みと先人の知恵に感謝～	綿の紹介と栽培のきっかけづくり。インターネットによる情報提供小学1年生国語の体験事業。福祉施設での綿を利用した園芸の実践。
多胎児サークル G・ツインズ	第4回 岐阜県多胎児サークル交流会	「一人の悩みはみんなの悩み・語り合おう多胎児」をテーマにしてグループ討議・アドバイザーより助言・指導。
岐阜を想う会	元気で、住みやすく、魅力的なまちにするための視察と勉強会	元気なまちづくり活動をしている地域を視察し、岐阜市が魅力的なまちになる為の方策を学び、地域活性化の為の実践活動へ結びつける。
特定非営利活動法人 エヌエスネット	金華山で野生動物と出会う	金華山をフィールドとした野生動物との出会いを通して、子どもたちに「生きる力」を学ぶ機会を提供する。
特定非営利活動法人 花の会	ぎふ文化遊學 まちの達人事業	美殿町の商店主による「講座」とそれに関連する芸能を楽しみながらまちに存在する和の文化に触れてもらう。
仕事工房ポポロ	生き方、働き方に悩む青年の出会いと交流 学び場の提供と就労、仕事支援	自立を模索する青年たちや子育て中の女性、高齢者のための就労支援・仕事起こしによって経済的自立への足がかりをつくる。
ORGAN(オルガン)	町家での「紙と書の展」	金華地区の築100年以上の町家を利用して、美濃和紙職人と若手書家のコラボレーション作品を展示し、町並保全のきっかけ創りを行う。
(障害者の) 演劇を楽しむ会	障害をもった若者たちが愛・性を学び コミュニケーション能力を育む演劇発表	命、愛、性の学習会。自分たちの生の声を生かし台本作り。言葉のトレーニングやダンス練習。『シャル ウイ ダンス』発表。
特定非営利活動法人 岐阜子ども劇場スマイルパーク	お父さんのための育児（育自） 絵本がお芝居になる！	「お父さんはウルトラマン」への取り組みを通して父と子のコミュニケーションを図り、親子で楽しい時間、うれしい体験を共有する。
丸窓電車を保存する会	丸窓電車車両の修繕および 市民憩いの拠点づくり	岐阜市金公園に産業遺産・地域資源として保存移設された丸窓電車モ510形車両を修繕整備し、市民の憩いの場、まちづくりの拠点を創出。
岐阜・シティオペラ	第2回岐阜・シティオペラ定期公演会 歌劇「椿姫」	歌劇（オペラ）を市民に広く普及することにより、時間と空間を共有し共存の意識を高め、人々のつながりを深めることに寄与していく。
ちようどええが プロジェクト	1/4の奇跡～ほんとうのことだから～	病氣・障害の大きさ、いのちの大切さを、健常・障害の枠を超え伝え続けている山元加津子さんの講演会及びドキュメンタリー映画の上映会。
鷺山小学校PTA	親子で守る、地域みんなで育てる、鷺山の森	鷺山の森の雑木林整備活動ならびに地域住民と児童の交流。
特定非営利活動法人 親と保育者の会へーれん	『ぼくの本・わたしの本を作ろう！』	一部：専門講師による講演会の開催 二部：親子で楽しむ手作り絵本教室の開催
てっぺの会	てっぺ～みんなで手をつなごう～	「親育ち・子育て」をテーマに、豊かに育ちゆくことが大切だと考え親子で集まれる場としておやつ作り・お話し会・人形劇を展開する。
金華山サポーターズ	みんなが気持ちよく登れる金華山づくり	気持ちよく訪れることの出来る金華山にしていくことを目的とし、学習会、登山時のルールづくり、啓発・案内看板の設置などを行う。
達目洞自然の会	お米作りからはじめる自然との ふれあい活動 in 達目洞	ヒメコウホネ自生地周辺の休耕田を使って、地元の幼稚園・小学校・中学校、市民と共に米作りをすることにより、自然の楽しさや大切さを感じてもらう。
元気サロンきらら	いつまでもお元気で！ 地域で取り組む介護予防！	介護予防、医療と福祉を重視した講演と交流会を年間6回程度開催。（健康・サプリメント・栄養・認知症・医者との良い付き合い方等）
子どもの人権 ネットワーク・岐阜	「子育て、大人育ち」事業	①地域で活動している団体と情報交換する②映画「長い散歩」上映会開催 ③講演会開催「子どもの長い散歩に寄り添って」④関係団体活動紹介冊子作成
ぎふCAP	子どもの暴力防止活動 (CAPプログラムの提供)	子どもの自己防衛力を高め、自信と勇気を引き出すことを各幼保小中学校で実施する。養護施設の子どもたちにCAPプログラムを提供する。
ぎふママネット	「子育てしながら社会参加の実現をめざそう ワークライフバランス講演会&ワークショップ」	(株)ワークライフバランスの小室淑恵氏を講師に招き、生活を充実することで仕事も充実していくという働き方について学ぶ。

市民活動支援事業 決定団体

選考は、市長が委嘱した有識者、市民活動団体や自治会関係者など5人の審査委員が慎重に審査した結果、13団体が選ばれました。



審査基準

- ① 社会課題の解決を目的とした事業であるか
- ② 市民への意識啓発・波及効果に優れているか
- ③ 着眼点が優れているか
- ④ 提案団体のさらなる発展・継続につながる事業であるか
- ⑤ 予算額から見た事業性の度合いは適切か

事業名	お米作りからはじめる自然とのふれあい活動 in 達目洞
団体名	だちぼくぼら 達目洞自然の会
 <p>達目洞自然の会では、自然を守り育てる活動を行なっています。今回の事業では、ヒメコウホネ自生地周辺の休耕田を使って、地域の幼小中学生、住民の方たちと、お米作りをすることを通して自然と触れ合う楽しさを体験してもらいたいと思います。人の手で草取りをしたり、秋には稲刈りをし、作業後は自然観察会を行ないます。</p>	

事業名	「たぬきの糸車」大作戦 ～自然の恵みと先人の知恵に感謝～
団体名	美濃コットンボール銀行
 <p>衣服の原料である綿を育てることや、糸を実際に紡ぐ体験を通して衣の文化に関心を持ち、「やさしさ」「思いやり」「感謝」の気持ちに気づいて欲しいと思います。綿の種を多くの人に配布し、花が咲き実がなり、そしてその種をまた人に渡すことによって人の輪をつなげていきたいと考えています。</p>	

事業名	親子で守る、地域みんなで育てる、鷺山の森
団体名	鷺山小学校PTA
 <p>まちのシンボルでもある鷺山の緑を、PTAだけではなく地域の人たちの力を借りて守っていきたく思います。児童に、鋸、刃物などの使用方法の指導を行ったり、竹藪の整備などを実施します。子ども、若者、年配者が力を合わせて鷺山の自然を守っていくこと、そしてそこに集う人のつながりこそが鷺山の最大の宝物と考えます。</p>	

事業名	お出かけおもちゃアシスターズ
団体名	お出かけおもちゃアシスターズ
 <p>子どもたちに、環境にやさしい心と、ものを大切にできる心が育つことを目的におもちゃを直しています。昨年は支援事業の助成で、おもちゃを直す件数が増えました。今年は1000件の大台を越すと思います。おもちゃを直した後に、お礼の手紙や写真をいただくことに喜びを感じ、根気と根性、やる気で活動しています。</p>	

事業名	障害をもった若者たちが愛・性を学びコミュニケーション能力を育む演劇発表『シャル ウイ ダンス』
団体名	(障害者の) 演劇を楽しむ会
 <p>知的障害者が学ぶ場は18才までという現状のなか、性に目覚める時期に性を学ぶ場を作りたいと考えています。人間関係のトレーニングの場、コミュニケーションの場として、演劇に取り組んでいます。市民会館という大きな舞台で演劇発表ができることを楽しみにしています。『シャル ウイ ダンス』発表の後、次の取り組みへとつなげていきたいと思っています。</p>	

事業名	お父さんのための育児（育自） 絵本がお芝居になる！
団体名	特定非営利活動法人 岐阜子ども劇場スマイルパーク
 <p>今回で3年目の事業となります。今年度は育児から離れがちになるお父さんを巻き込んだ活動が目的です。アッシー君や壁の花ではなく、お父さん自身も主役になれる場を作りたいと考え、計画しました。子育ては親育ち。父親や母親と共有した時間の思い出は、きっと子どもに自信を与えてくれるはずです。</p>	

事業名	子どもの暴力防止活動 (CAPプログラムの提供)
団体名	ぎふCAP
 <p>子どもたちが自分で自分を守ることができ、自信と勇気を持って生活できるようにするためにワークショップを行ないます。ワークショップは教職員向け、子供向け、そして養護施設でも実施します。</p>	

事業名	第4回岐阜県多胎児サークル交流会
団体名	多胎児サークルG・ツインズ
 <p>岐阜県は全国的にみて多胎児の多い県です。多胎児の妊娠出産には、異常妊娠、ひきこもりなど多胎児の親にしかわからない悩みがあります。そんな悩みを分かち合い、少しでも和らげることができるようなサークル活動や勉強の場を作りたいと思います。活動を行なうことで多胎児を育てやすい環境になればと思います。</p>	

事業名	生き方、働き方に悩む青年の出会いと交流、学び場の提供と就労、仕事支援
団体名	仕事工房ポポロ
 <p>仕事を持たない青年、いわゆるニートが増えています。ニートというと無気力、だらしがないというイメージが持たれがちですが、自分を活かすことができる仕事を探している青年もいます。ニートに対する誤解や偏見が多いが、そうばかりでないことを伝えたい。青年たちが経済的に自立できるようにサポートしていきたいと思っています。</p>	

事業名	みんなが気持ちよく登れる金華山づくり
団体名	金華山サポーターズ
 <p>多くの人が金華山に登ることで、道が荒れるなどの問題が起きています。登山のマナーを守ることが大切と考え、現在行っているルールづくり、啓発のための看板設置をさらに進めていきたいと思っています。宝の山である金華山を守り、次世代へと伝えていくことが重要と考えます。</p>	

事業名	柳ヶ瀬寄席実施による街なか賑わいの創出とスローライフ推進事業
団体名	柳ヶ瀬寄席実行委員会
 <p>寄席は柳ヶ瀬のルーツともいえます。昨年は3回の寄席を実施し、好評でした。今年も昨年同様3回実施し、おおぜいの人を集め、街なか賑わいと経済の活性化につなげたいと思っています。</p>	

事業名	1/4の奇跡～ほんとうのことだから～
団体名	ちようどええがプロジェクト
 <p>ドキュメンタリー映画の上映と、命の大切さを伝え続けている山元加津子さんの講演会の開催を通して、「人はひとりひとり違っていい、あなたはあなたのままで素晴らしい」ということを伝えていきたい。岐阜市内で上映することで多くの市民の方に触れていただき、住みよい街づくりのきっかけができればと思います。</p>	

事業名	金華山で野生動物と出会おう
団体名	特定非営利活動法人 エヌエスネット
 <p>金華山をフィールドに、地域の子どもたちとその親を対象に自然を通じた学びの場を提供し、野生との出会いを体験しながら「生きる力」を学ぶ機会を提供します。</p>	

ご案内



～ 企業・団体関係者のみなさま ～
市民のみなさんとコラボレーションをしませんか？

最近、CSR(企業の社会的責任)の一環として、多くの企業・団体が地域清掃などの社会貢献活動に取り組んでおられます。これからは、市民・NPO、企業・団体、行政など、それぞれが主体となって力を合わせ、よりよい地域社会づくりを目指す時代になっていくと考えられます。

NPOとの協働について興味をお持ちの方は、ぜひ一度当センターまでご連絡ください。



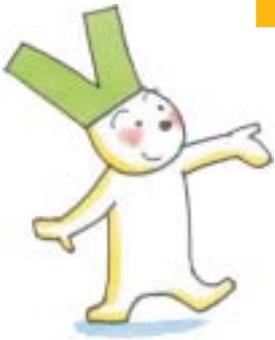
● 協働事業提案募集のお知らせ

～ 皆さんの公益的な活動・事業の提案を募集しています ～

岐阜市は「協働のまちづくり指針」をもとに、特に“市民と行政の協働”を進めるため、その基本的な考え方や具体的な手法を「協働事業のガイドライン」として昨年3月にまとめました。協働のまちづくり推進委員会やワークショップなど、ボランティア団体やNPOの方々など多くの皆さんと市の協働作業によってまとめられたこのガイドラインに基づく協働事業の提案を随時募集しています。

※このガイドラインで対象とするNPOとは、公益的に社会的課題を解決することを目的とした継続性のある組織体で、特定非営利活動法人（いわゆるNPO法人）のほか、法人格を有しない住民組織やボランティア団体等の任意団体も含まれます。

■ 対象となる事業



NPO(NPO法人や市民活動団体)と協働することで、公共サービスをよりきめ細やかに、または効率的・効果的に実施することができるあらゆる分野の事業。

※ 協働事業はNPOの特性が十分生かされた内容であることが大切です。詳しくは「NPOとの協働事業推進のためのガイドライン」の「NPOと協働すべき事業」をご参照ください。

参考 URL①: <http://www.city.gifu.lg.jp/c/Files/1/19020081/attach/suisin.pdf>

参考 URL②: <http://www16.ocn.ne.jp/~kyoudou/KYODOUJIGYOU/KYOUGIframe.html>

■ おすすめ方



予告

随時募集とは別に、協働事業提案月間の開催を秋に予定しております。詳細については、今後当センターのホームページなどを通じてお知らせいたします。

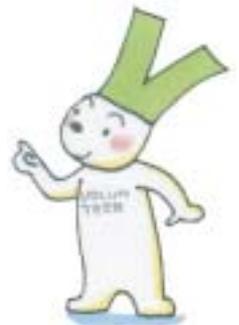


メモ NPO登録制度について

岐阜市には、NPOと岐阜市の相互理解を図り、両者からの協働事業の提案・呼びかけを円滑にし、協働事業を推進・拡大していくことを目的とした“NPO登録制度”があります。この制度は、岐阜市内で活動する、地域や社会の課題を解決するために、岐阜市との協働事業に取り組もうとする非営利の市民活動団体を対象としています。登録していただいた団体には、岐阜市からの協働事業の呼びかけや、その他協働に関する案内や情報などを提供させていただきます。

詳しくはセンターまでお問い合わせ下さい。

参考 URL : <http://www16.ocn.ne.jp/~kyoudou/KYODOUJIGYOU/TOUROKU.html>





NPO イベント情報



劇団はぐるま 第121回公演 こそあどの森の物語

～ふしぎな木の実とまよなかの魔女～

日時 平成19年7月14日(土)・14:30・18:30 開演
15日(日)・10:30・14:30 開演

場所 岐阜市民会館

入場料 2,500円(日時指定自由席)
(当日券:3,000円)

NPO法人 劇団はぐるま

受付時間 月・金 / 10:00 ~ 15:00 / 19:00 ~ 21:30
水・土 / 19:00 ~ 21:30
TEL 058-265-1852
FAX 058-262-1652
E-mail higuruma@violin.ocn.ne.jp

難聴者向けパソコン教室

日時 平成19年7月14日、7月28日、8月4日、8月18日
(いずれも土曜日) 13:30 ~ 17:00

場所 岐阜聖徳学園大学 羽鳥キャンパス6号館
コンピュータ室 6303
(岐阜市柳津町高桑西1-1)

岐阜県内に在住、在学、在勤の18才以上の中途失聴・難聴者(定員30名)

参加費 無料(ただし教材費のみ実費負担)

NPO法人 岐阜市中途失聴・難聴者協会

氏名、郵便番号、住所、TEL・FAX番号を明記して以下「難聴者向けパソコン教室事務局」まで
〒500-8326 岐阜市吹上町3-12 水口元一方
FAX 058-251-6309
E-mail momo@ccn.aitai.ne.jp

ミネハハ in ぎふ・チャリティコンサート 天地をつなぐコンサート

日時 平成19年7月16日(月・祝)
開演 14:30 ~ (開場 14:00)

場所 リバーサイドシティ瑞穂市総合センター
(サンシャインホール)

入場料 前売:大人2,500円 中学生以下2,000円
当日:大人3,000円 中学生以下2,000円

チケットのお申し込み先(チケットぴあ)

TEL 0570-02-9999(Pコード:260-859) <http://pia.jp/t>
お近くのチケットぴあスポット等でも直接購入可能です

天地をつなぐコンサート実行委員会 ミネハハと天使たち

TEL 090-8552-6784 (水野)

第四回 柳ヶ瀬寄席

出演者:桂 佐ん吉、桂 歌之助、桂 宗助

日時 平成19年7月22日(日) 14:00 より

場所 シネックスホール・高島屋東

木戸銭 前売り券:1,300円
当日券:1,500円

柳ヶ瀬寄席実行委員会

お問い合わせ
岐阜市桜通4-1 (HAテレコム内)
TEL 058-251-2101

エヌエスネット 夏休みの子どもキャンプ

乗鞍岳の麓で自然の中の遊びのフルコースを満喫しよう!
下記の長期キャンプをはじめ、年間を通して野外体験を中心にした楽しい企画が満載です! 詳しくはホームページをご覧ください。

日時 平成19年7月22日(日) ~ 8月4日(土)
13泊14日

場所 野麦学舎周辺 (高山市高根町)

参加要件 小学3年生以上中学生まで 20名(先着順)

参加費 65,000円

NPO法人 エヌエスネット (担当:高屋)

〒500-8141 岐阜県岐阜市月丘町 5-13ハヤシビル203
TEL 058-249-1166 FAX 058-248-4722
E-mail nature@odss.co.jp
URL <http://www.ns-net.npo-jp.net/>

上映会 「六ヶ所村ラブノディー」

2004年、六ヶ所村に使用済みの核燃料からプルトニウムを取り出す再処理工場が完成した。雇用問題や反対運動などが発生する中、そこで暮らす普通の人々の営み、そして選択を見つめてゆく。

日時 平成19年7月28日(土)
午前の部 10:00 ~ 12:30 (開場 9:30)
午後の部 13:30 ~ 16:00 (開場 13:00)

場所 ハートフルスクエアG 大研修室

入場料 前売券:1,000円 当日券:1,200円
(高校生以下無料) ※託児あり

mamaなかま

TEL & FAX 0586-68-3131 (担当:牧)
E-mail keesuke.denbo@yahoo.co.jp (担当:寺)

第22回 みんなでやろまい 障害者・健常者の大交流キャンプ

障害のある人もない人も一緒に、自然とふれあいながら楽しく交流します。

日時 平成19年8月4日(土) ~ 8月5日(日)

場所 すぎのこキャンプ場 バンガロー村
(関市板取一里保木)

参加費 4,500円(小学生以下2,500円)

NPO法人 障害者自立センター つっかいぼう (担当:後藤)

岐阜市早田東町8丁目4-1 パセール長良1F3号
TEL & FAX 058-296-5343
E-mail tukkaibo@ccn3.aitai.ne.jp

人と人、店と店、人と店を つなげて輪をつくる(クラフト)イベントです。 第12回 小さなクラフト展 出店者募集!

日時 平成19年8月4日(土) 10:00 ~ 16:00
※雨天の場合は8月5日(日)

場所 岐阜市 八幡神社

参加要件 趣旨に賛同していただける個人およびグループ(ブースサイズ2m×2m)

出店料 500円(当日集金)

岐阜スタイル (担当:事務局/福田)

TEL & FAX 058-266-9447
E-mail info@gifucraft.com
URL <http://www.gifucraft.com>

親子でわくわく体験支援事業 「親子サマーキャンプ」

普段はなかなか経験できない様々な野外活動を体験します

日時 平成19年8月7日(火) ~ 8日(水)

場所 本巣市根尾長嶺「生涯学習施設ながみね」

参加要件 小学生以上の障がいのある子どもと家族

参加費 一泊:大人8,000円 こども6,000円
日帰:大人3,000円 こども2,000円

NPO法人 みんなが (担当:水上)

(月・水・金 10:00 ~ 13:00)
TEL & FAX 058-295-4385
(上記時間帯以外は留守番電話)
E-mail minnega56@yahoo.co.jp

編集後記

今年度の「市民活動支援事業」は従来からの提案活動支援タイプや地域夢づくり支援タイプに加え、はじめの一步活動支援タイプやNPOと企業との協働支援タイプの4事業タイプで提案を募ったところ、過去最多となる30団体から応募申請がありました。公開企画コンペ審査会場では、提案団体が行政との協働を掲げ、熱い思いの提案がなされたことや提案団体が多かったこともあり、審査委員の方々も評価されるのに苦慮される状況でした。惜しくも採用されなかった団体は、初志を貫いて活動を続けていただき、また、採用された団体は、財源を有効に活かしていただくよう願っています。

協働センターでは、こうした市民活動の支援をはじめ、協働のまちづくりを支援する中間支援組織として、NPOに関する情報の収集や提供を行いながら、皆さんが抱えている課題に対して、課題解決のアドバイスや相談に応じ、皆様の活動の応援をしたいと思いますので、ご活用ください。

センター長 栗本 和彦



開館時間 正午から午後9時(日曜日は午後7時まで)

休館日 毎週木曜日・年末年始(12/29~1/3)